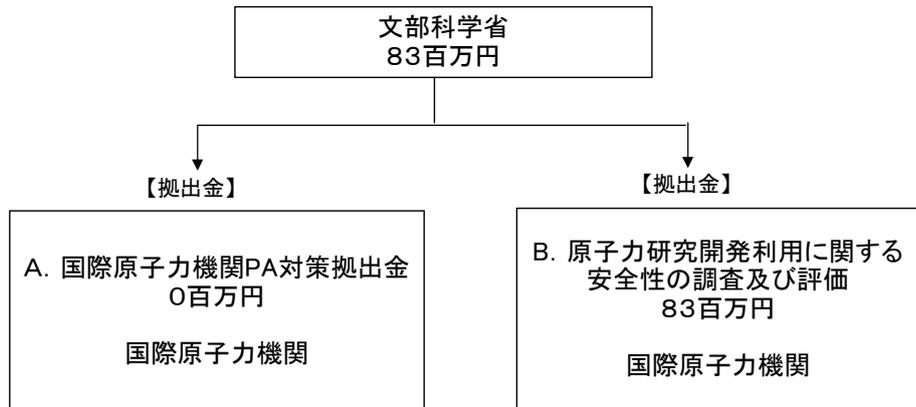


平成23年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	国際原子力機関拠出金	担当部局庁	研究開発局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成元年度～	担当課室	研究開発戦略官付 (核融合・原子力国際協力担当)	研究開発戦略官(核融合・原子力国際協力担当)	片岡洋		
会計区分	エネルギー対策特別会計 (電源開発促進勘定)	施策名	X-5 原子力分野の研究・開発・利用の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	特別会計に関する法律施行令 第51条1項29号、30号	関係する計画、通知等	原子力政策大綱(H17年10月11日 原子力委員会決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国際原子力機関(IAEA)に特別拠出金を拠出し、原子力発電施設等の設置の必要性に関する知識の普及、原子力研究開発利用に関する安全性の調査及び評価を行い、わが国の原子力政策に反映し、もって原子力施設の設置及び運転の円滑化に資する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国際原子力機関(IAEA)にて実施されている以下のプロジェクトについて特別拠出金を拠出する I. 国際原子力機関PA対策拠出金 各国における高速炉等の社会需要の経験を取りまとめて提供することにより、国民の原子力に対する理解の促進を図る。 II. 原子力研究開発利用に関する安全性の調査及び評価 各国の原子力施設等について、保障措置の観点から安全に関する調査及び評価を実施する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	135	111	110	69	60
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	135	111	110	69	60
	執行額	135	111	83			
執行率(%)	100.0%	100.0%	75.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	【成果目標】 本拠出金により各国における高速炉等の社会需要の経験が取りまとめて提供され、また、各国の原子力施設等について保障措置の観点から安全に関する調査及び評価が実施され、原子力施設の設置及び運転の円滑化に資すること。 【成果実績】 IAEAに対して拠出を行い、各国の原子力施設等について、保障措置の観点から安全に関する調査及び評価が実施され、原子力施設の設置及び運転の円滑化が図られた。	成果実績					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	【活動指標】 IAEAに対して拠出金を拠出する。 【活動実績】 IAEAに対して拠出金を拠出した。	活動実績 (当初見込み)				()	()
単位当たりコスト	単位あたりコストを想定できない。	算出根拠	算出することができない。				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	原子力研究開発利用に関する安全性の調査及び評価	69百万円	60百万円	事業内容の精査			
	計	69百万円	60百万円				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>【目的・予算の状況】 当事業は、電源立地対策として国際原子力機関に拠出して実施する有用な事業である。</p> <p>【資金の流れ、費目・使途】 当初の予算措置の目的のうち、原子力研究開発利用に関する安全性の調査及び評価のために使用された。</p> <p>【活動実績、成果実績】 原子力研究開発利用に関する安全性の調査及び評価を実施した。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>1. 事業評価の観点：この事業は、国際原子力機関(IAEA)に特別拠出金を拠出し、原子力発電施設等の設置の必要性に関する知識の普及、原子力研究開発利用に関する安全性の調査及び評価を行い、わが国の原子力政策に反映し、もって原子力施設の設置及び運転の円滑化に資する事業であり、長期継続、事業の効率化等の観点で検証を行った。</p> <p>2. 所見：本事業は長期継続事業(5年以上)であるが、引き続き事業の目的に即して着実に事業を実施すべきである。しかし、予算の硬直化を防ぐため、事業内容の精査に努め、経費の効率化を一層進めるべきである。また、引き続き、本事業の目的を踏まえ、日本国内へ成果が還元される様に努めるべきである。また、引き続き、本事業の目的を踏まえ、日本国内へ成果が還元される様に努めるべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>予算監視・効率化チームの所見を踏まえ、平成24年度概算要求に関しては、事業内容の精査を行うことにより、9百万円のコスト縮減を図った。また、所見を踏まえ、引き続き、国内への成果の還元にも努める。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

【国際原子力機関拠出金】



〔 各国における高速炉等の社会
受容の経験をとりまとめて提
供することにより、国民の原子
力に対する理解の促進を図
る。 〕

〔 各国の原子力施設等について、
保障措置の観点から安全に関す
る調査及び評価を実施する。 〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A. 国際原子力機関			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
拠出金	国際原子力機関PA対策拠出金	0			
計		0	計		0
B. 国際原子力機関			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
拠出金	原子力研究開発利用に関する安全性の調査及び評価	83			
計		83	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国際原子力機関	各国における高速炉等の社会受容の経験をとりまとめ提供することにより、一般公衆の原子力に対する理解の促進を図る。	0	-	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国際原子力機関	我が国を含む各国の原子力施設等について、保障措置の観点からの安全性に関する調査及び評価を実施し、原子力施設等の安全性についての周知及び安全の確保に関する理解の促進を図る。	83	-	-